都市の緑地等における生物多様性保全の取組事例

①特定の生物種（群）の保全・再生・創出を目的とした整備や維持管理を行っている取組

①-1：生物の生息・生育環境を保全するもの
①-2：生物の生息・生育環境を創出するもの
①-3：生物の生息・生育環境を再生するもの
①-4：種の保護・増殖に関するもの
①-5：特定の生物種（群）の保護のため、外来種等の駆除に関するもの

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理している取組

②-1：生物の生息・生育環境を保全するもの
②-2：生物の生息・生育環境を再生・創出するもの

③都市における生態系ネットワーク形成に資する整備や維持管理を行っている取組

③-1：複数の公園緑地間や、河川・道路など、地域一体的な連携に関するもの
③-2：特定の生物種の移動経路となる公園緑地の保全を一体的に行っているもの

④その他の取組

④-1：生物の調査活動に関するもの
④-2：環境学習・自然観察会等に関するもの
④-3：公園や園内の生物についての情報発信を行っているもの

①特定の生物種（群）の保全・再生・創出を目的とした整備、維持管理を行っている取組

①-1　生物の生息・生育環境を保全するもの

公園・緑地内に従来から生息・生育する生物種（群）の保護を目的とし、その生息・生育環境の保全に取り組んでいるもの。現状の環境維持を目指しているもの。公園整備後に園内の池や樹林地等で生息・生育が確認されたため、現在保全対策に取組んでいるもの。

①-2　生物の生息・生育環境を創出するもの

特定の生物種（群）を呼び込むことを目的とし、その生息環境を人工的に創出しているもの。

①-3　生物の生息・生育環境を再生するもの

その地又は近隣でかつて見られた生物種（群）の復活を目的とし、生息・生育環境の再生に取り組んでいるもの、又は、生息・生育環境の悪化により個体数が減少している生物種（群）の保全を目指して良好な環境を再整備しているもの。

①-4　種の保護・増殖に関するもの

園内の施設を活用して、特定の種の保護・増殖に取組んでいるもの。
施設内での増殖を行ったのち、野外への放流・移植を行っているもの。

①特定の生物種（群）の保全・再生・創出を目的とした整備、維持管理を行っている取組

①-1　生物の生息・生育環境を保全するもの

イトヨの里泉が森公園　（茨城県日立市）

種別：親水公園（行政財産）

面積：２．４５ha

開設：平成１３年４月

取組：
　平成７年に旧養魚場跡地で陸封型イトヨが発見され、その保全を目的に親水公園化された。現在は市の公園里親制度の適用を受け、地域住民の団体が、維持管理、清掃、観察会等を運営している。

保全対象：
　陸封型イトヨ、ノコギリカワゴケ、ゲンジボタル

イトヨ

イトヨ観察テラス　（イトヨの里泉が森公園運営委員会HP）

①-1　生物の生息・生育環境を保全するもの

富塚椎の木谷特別緑地保全地区（静岡県浜松市）

種別：特別緑地保全地区

面積：約6．7ha

指定：平成17年

取組：

浜松市自然環境資源調査(H11・12)によりミカワバイケイソウやシロバナカザグルマ等、貴重種の生息が判明。市は土地取得開始し、平成17年に特別緑地保全地区に指定。現在は、市民団体が中心となって里山保全活動を展開中である。

保全対象：

ミカワバイケイソウ、
シロバナカザグルマ等

ミカワバイケイソウ

（椎ノ木谷保全の会HP）

椎の木谷・緑の広場　（浜松市パンフレット）

①特定の生物種（群）の保全・再生・創出を目的とした整備、維持管理を行っている取組

①-1　生物の生息・生育環境を保全するもの

小貝川ふれあい公園「自然観察ゾーン」（茨城県下妻市）

種別：総合公園

面積：約28ha

（内、自然観察ゾーン11ha）

開設：平成6年12月

取組：

本ゾーンは通称オオムラサキの森と呼ばれ市民団体を中心に年間を通して森の管理やパトロール、オオムラサキの保護活動を実施している。オオムラサキの卵や樹林を守るため、観察路（2km）以外は立ち入り禁止にしている。

保全対象：

オオムラサキ

オオムラサキの森

ネイチャーセンター

小貝川と河畔の自然観察ゾーン　（下妻市HP）

①特定の生物種（群）の保全・再生・創出を目的とした整備、維持管理を行っている取組

①-1　生物の生息・生育環境を保全するもの

大和田緑地公園特別緑地保存地区（埼玉県さいたま市）

種別：特別緑地保全地区

面積：13．3ha

指定：平成18年12月

取組：

　見沼田圃の周辺斜面林を構成。良好な景観の緑地内に自生する希少種であるキンラン・エビネなどの保全を目的に、フェンスを設置し、（過去に根こそぎ持ち去られた経緯から。）ボランティア団体による保全活動を行っている。

保全対象：

　キンラン・エビネほか6種の絶滅危惧種の保護等

絶滅危惧種の
植物の保護

大和田緑地公園　（さいたま市提供）

①特定の生物種（群）の保全・再生・創出を目的とした整備、維持管理を行っている取組

①-2　生物の生息・生育環境を創出するもの

笛吹みさか桃源郷公園「蛍池」（山梨県笛吹市）

種別：市立公園（行政財産）

面積：３．６ha（内、蛍池０．１５ha）

開設：平成6年（蛍の保護・育成同時）

取組：

　公園敷地の一角に蛍池を整備し、ボランティア団体を中心にホタルの保護・育成を行っている。成虫の発生時期には鑑賞会を開催する等、公園来訪者を喜ばせている。

保全対象：

　ゲンジボタル、ヘイケボタルの保護・育成

桃源郷公園

ホタルの発生　（笛吹市HP）

①-2　生物の生息・生育環境を創出するもの

関前公園「トンボ池」　（東京都武蔵野市）

種別：街区公園

面積：０．４１ha
（内、トンボ池１７５㎡）

開設：平成６年

取組：
「自然とふれあえる水と緑の公園」をテーマに整備された本公園では、公園開設時に数種類の水生生物の放流を行った他、トンボの生息しやすい水草や池周辺の植生づくりを行い、現在は13種類のトンボが見られるようになっている。

保全・誘致対象：
シオカラトンボ、アキアカネ、クロスジギンヤンマの繁殖

トンボ池のかいぼり（掻掘）

市民参加でトンボ池のかいぼり　(武蔵野市提供)

①-2　生物の生息・生育環境を創出するもの

葛 城 地 区 公 園　（茨城県つくば市）

種別：地区公園

面積：約7．3ha

開設：平成6年

取組：

　土地区画整理事業区域内の注目すべき植物種について、可能な限り公園内に移植を行っており、平成13年以降、現在までに8種、約6,000株を移植した。

保全対象：

　ヤマユリ、クモキリソウ、オオバノトンボソウ、シュンラン、マンリョウ、キンラン等

葛城地区公園　（UR都市機構HP）

①-3　生物の生息・生育環境を再生するもの

ハチゴロウの戸島湿地　（兵庫県豊岡市）

種別：田園自然環境保全事業

面積：3．88ha

開設：平成21年 4月

取組：

　本地区の水田は、近年までコウノトリが暮らしていた豊岡の湿地の特徴を残していた。平成17年から野生コウノトリが餌場として頻繁に利用することになったことから、市が湿地として再生し、コウノトリの生息地と地域の生物多様性の核となるように整備を行った。

保全対象：

　コウノトリ、ミズアオイ、イトヨ

湿地に浮かぶ野鳥観察棟

人工巣塔で3羽の雛誕生

CSR活動で湿地の草刈　（豊岡市HP ）

①-3　生物の生息・生育環境を再生するもの

石神井公園「三宝寺池」（東京都練馬区）

種別：風致公園

面積：約201ha（公園全体）

開設：昭和34年

取組：

国の天然記念物である三宝寺池の沼沢植物群落は、昭和60年までに水質の悪化等により多くの水生植物が消滅した。かつての良好な状態に回復せるために調査・計画に基づく管理を行った結果、カキツバタ、ミツガシワ等の生育状況が安定、消滅の危機は回避され、平成18年度には15科16種が確認された。

三宝寺池の沼沢植物群落　（練馬区HP）

保全対象：沼沢植物群

①-3　生物の生息・生育環境を再生するもの

かじかの里公園　（兵庫県篠山市 ）

種別：県立自然公園内の広場

面積：約3，000㎡

開設：平成5年度

取組：
　市内の河川において、ゲンジボタル、カジカガエル、オオサンショウウオの減少が見られたため、自然公園内に整備した広場において、カジカガエルの保護地整備と、河川の100mの区間を自然石が露出する渓流に改良を施している。ただ、モニタリング 調査が実施できていない。

保全対象：カジカガエル、オオサンショウウオ、ゲンジボタル

かじかの里公園・広場　（篠山市提供）

①-4　種の保護・増殖に関するもの

荒幡富士市民の森 他2箇所　（埼玉県所沢市）

種別：市民の森（3箇所）

面積：４．６ha、１.1ha、0.9ha

指定：昭和59、60年、平成4年（ふるさとの花再生事業は平成１３年度から）

取組：
　所沢市では、ふるさとの花再生事業として、里親ボランティアとの協働の取組により増殖をはかり、その苗を市内の市民の森に植え付け、雑木林の再生を図っている。エビネについては無菌培養による増殖苗の飼育も行っている。

保全・増殖対象：
　エビネ、シュンラン、ヤマユリ

荒幡富士市民の森　（所沢市HP ）

若狭山の神市民の森　（所沢市HP ）

①-4　種の保護・増殖に関するもの

尼崎の森中央緑地「はじまりの森」（兵庫県尼崎市）

種別：都市緑地

面積：約29ha

開設：平成18年（約6.6ha「はじまりの森」開園）

取組：

尼崎の森中央緑地は臨海部の工場跡地であり、地域の生態系を再現するという構想をもつ。流域から種子を集め苗から育てて森をつくるという植生計画のもと、市民活動が始まっている。10年間で20万本の目標のもと、種子を集め 、選別し、育成し、順次苗を植栽している。

増殖・育成対象：50種以上の苗木

種の採取風景
（尼崎の森中央緑地提供）

冷蔵保管されている種子

ビニールハウス内外の育成場

①-5　特定の生物種（群）の保護のため、外来種等の駆除に関するもの

成田公園「三ッ池」（大阪府寝屋川市 ）

種別：近隣公園

面積：約１．４４ha（対象地約0.6ha）

開設：昭和６０年５月

取組：
　元々農業用ため池だった場所に、タモロコ、モツゴ等の魚類が生息していたが、オオクチバスやブルーギルの異常繁殖によって在来種の減少が見られた。そのため、平成16年以降生物相の復元を目指して、自治体と市民団体の協働による外来魚の継続的な駆除を実施している。

保全対象：コイ、フナ、タモロコ、モツゴ、 ヨシノボリ等の在来水生生物

三ツ池はブルーギルが多い

外来種駆除の様子　（水辺に親しむ会HP）

①-5　特定の生物種（群）の保護のため、外来種等の駆除に関するもの

戸 祭 山 緑 地　（栃木県宇都宮市）

種別：都市緑地

面積：23．5ha

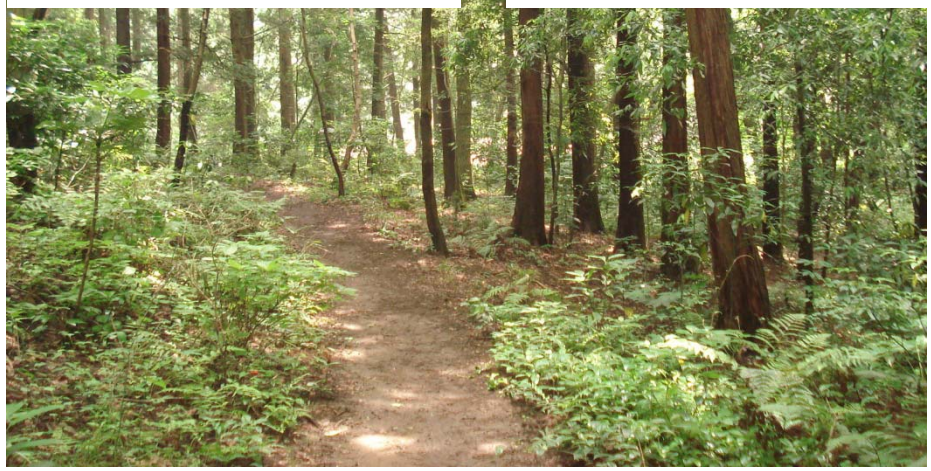
指定：平成元年

取組：
　本緑地ではトウキョウサンショウウオなどの両生類やオタマジャクシの捕食被害の懸念があったため、外来種のアメリカザリガニの駆除作業をボランティアとの協働作業により取組んでいる。

保全対象：
　トウキョウサンショウウオ

トウキョウサンショウウオ

アメリカザリガニ駆除作業



戸祭山緑地　（上：宇都宮市HP、下：グリーントラストうつのみやHP）

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理している取組

①-1　生物の生息・生育環境を保全するもの

良好な自然環境について、保全対策に取組んでいるもの

①-2　生物の生息・生育環境を再生・創出するもの

多様な生物を呼び込むことを目的とし、その生息環境を人工的に再生・創出しているもの。

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理を行っている取組

②-1　生物の生息・生育環境を保全するもの

宮戸特別緑地保全地区　（埼玉県朝霞市）

種別：特別緑地保全地区

面積：5，471㎡

指定：平成18年8月

取組：

　開発の危機にさらされた樹林地を市が買収し、特別緑地保全地区への指定を行った。現在は、市民ボランティアの協力を得ながら維持管理を行っているが、ボランティアの人数不足、企業参加が少ない等の課題が挙がっている。

保全対象：

　雑木林、草木環境全般

特別緑地保全地区

あさか環境市民会議【自然部会ニュース】

09あさかの里山だより・春

宮戸斜面林

根岸台斜面林

岡斜面林

代官水斜面林

活動予定（9：00～12：00）

朝霞の残された緑を守り育てる活動に貴方も参加しませんか？

	4月	5月	6月	7月
宮戸	2日(木)	7日(木)	4日(木)	2日(木)
岡	9日(木)	14日(木)	11日(木)	9日(木)
根岸台自然公園	14日(火)	休み	16日(火)	21日(火)
根岸台再生林		24日(日)	休み	26日(日)
代官水	21日(火)	19日(火)	23日(火)	休み

活動参加の呼びかけ

（朝霞市HP）

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理を行っている取組

②-1　生物の生息・生育環境を保全するもの

谷 田 の 泉　（埼玉県入間市）

種別：行政財産

面積：1，313㎡

開設：平成10年

取組：
　地元から湧水の保全と泉を活かした公園整備の要望が高かった。その後、公園ではなくそのまま残すことになり、緑の基金で市が公有地化した。以来、地元ボランティア組織などによって泉の環境が保全されている。

保全対象：
　カワモズク（埼玉絶滅危惧ＩＡ）

谷田の泉　　（産経新聞埼玉地域ニュースHP）

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理を行っている取組

②-1　生物の生息・生育環境を保全するもの

野山北・六道山公園（東京都武蔵村山市）

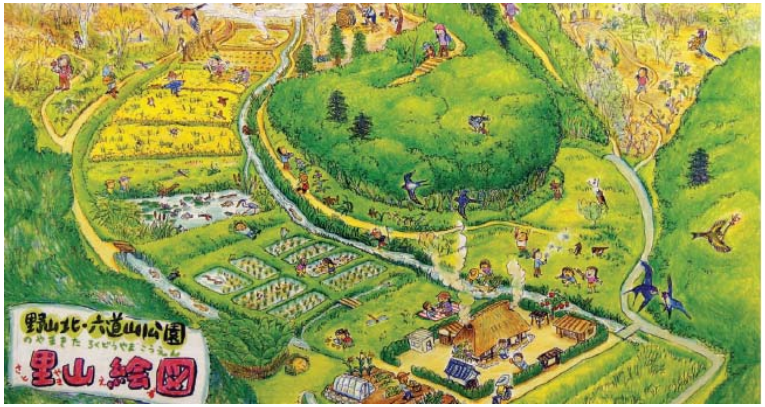
種別：広域公園

面積：260ha（開園約160ha）

開設：昭和63年から順次開園

取組：
　雑木林や谷戸を中心とした自然環境を保全しながら、貴重な狭山丘陵の里山景観を後世に残すことを目指している。指定管理者と公募登録制による里山ボランティアによる保全活動が行われている。

保全対象：
　里山景観



里山保全活動の様子　（野山北・六道山公園パンフレット）

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理を行っている取組

②-1　生物の生息・生育環境を保全するもの

名古屋市内のため池10池 （愛知県名古屋市）

種別：ため池

面積：ー

取組：
　市内にはかつて300箇所を超えるため池があり、生物多様性に寄与してきたが、すでに100箇所以上が消失し、残る池も環境の悪化が見られるため、主要なため池10箇所において環境省の補助事業として市民協働による外来種駆除、在来生物の保全、水質・生物生息状況の調査を行っている。

保全対象：
　特に設定していない。

ため池10池
（なごや環境大学HP）

篭池のかいぼり　（名古屋市提供）

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理を行っている取組

②-2　生物の生息・生育環境を再生・創出するもの

潮見公園「ビオトープ・イタンキ」（北海道室蘭市）

種別：総合公園

面積：25．5ha（開園約14ha）
（ビオトープ　0.1ha）

開設：平成14年よりビオトープ整備

取組：
　失われた室蘭の浜に続く草原と湿地を復元しようと、公園内に平成14年からビオトープの整備を実施している。NPOが中心となって、湿原復元を通して郷土の緑化に貢献するとともに、子供たちの健全な成長に寄与することを目指している。

保全・誘致対象：
　フクジュソウ、カタクリ、キタキツネ、イトヨ、ホタルなど多種。

池を造成している頃

学童が観察

復元した湿原　（NPO法人ビオトープ・イタンキin室蘭HP）

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理を行っている取組

②-2　生物の生息・生育環境を再生・創出するもの

びわこ地球市民の森「森づくりセンター」

（滋賀県守山市）

種別：都市林

面積：42．5ha

開設：平成14年7月（一部開園）

取組：

　野洲川の廃川敷を活用して「豊かな森の再生」を行っている。森づくりはボランティアによる苗木の植樹で進めることとし、平成13年から始まった。森づくりセンターはどのように生態系が形成されていくのかといった情報を収集・発信し、植樹の受付、指導、記録等を行っている。

保全・再生対象：

　生物多様性

県民などの苗木の植樹で森をつくる

びわこ地球市民の森の植樹地　（滋賀県HP）

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理を行っている取組

②-2　生物の生息・生育環境を再生・創出するもの

南部丘陵公園「昆虫観察園」（三重県四日市市）

種別：総合公園

面積：41ha（内、約0．2ha）

開園：ビオトープは平成17年 完成

取組：

　市街地内の都市公園である本公園を、都市近郊に残された貴重な緑地空間として機能させるため、里山で見られる生き物が再度帰ってこられるような空間拠点としてのトンボ池からなる昆虫観察園を整備した。現在30種類ほどのトンボが観察されている。

保全・誘致対象：

　トンボ類全般

昆虫観察園(ビオトープ）全体図　（四日市市HP）

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理を行っている取組

②-2　生物の生息・生育環境を再生・創出するもの

新宿中央公園「ビオトープ」（東京都新宿区）

種別：風致公園

面積：8．8ha（内、約1,000㎡）

開設：昭和43年4月
（ビオトープ平成15年5月）

取組：
区民に生き物とふれ合う機会を提供するため園内にビオトープの整備を行った。もとは東京都の下水道工事を行っていた場所である。整備段階から区民参加による計画立案し、整備後も維持管理・運営管理を協働で行っている。

保全・誘致対象：
特定の種を対象としていない。

もとは下水道の工事現場（H13.7）

基盤工事が完了（H15.4）

区民参加で水草を植える(H15.7)

田植え　（新宿区HP）

②生物種を特定していないが、一定の生態系の環境を整備、維持管理を行っている取組

②-2　生物の生息・生育環境を再生・創出するもの

弁天ふれあいの森公園など（千葉県浦安市）

種別：近隣公園、総合公園

面積：4公園（1.8ha～13.2ha）

開設：4公園（平成17～18年度）

取組：

　浦安市は市域の3/4が埋立地であり、農地もなく自然環境が非常に乏しいことから、公園整備に際して都市での生物の生息域として、また環境学習や自然とのふれあいの場となるビオトープ池と田んぼの造成を行った。住民による環境学習活動や生物調査が行われている。

保全・誘致対象：　特になし

明海の丘公園

日の出おひさま公園

弁天ふれあいの森公園　（上：浦安市HP、下：浦安市提供）

③都市における生態系ネットワーク形成に資するような整備、維持管理を行っている取組

③-1　複数の公園緑地間や、河川・道路など、地域一体的な連携に関するもの

自治体の生態系ネットワーク関連の計画等に基づき、広域ネットワークの形成の一環として公園緑地の保全・創出を行っているもの。

③-2　特定の生物種の移動経路となる公園緑地の保全を一体的に行っているもの

魚類や水鳥など、広域を生息地としたり、広域移動したりする生物を対象とし、その移動経路・休み場となる公園緑地の保全を行っているもの。

③都市における生態系ネットワーク形成に資するような整備、維持管理を行っている取組

③-1　複数の公園緑地間や河川・道路など、地域一帯的な連携に関するもの

桜堤公園・仙川緑地など　（東京都武蔵野市）

種別：街区公園、棟間空地、河川、道路

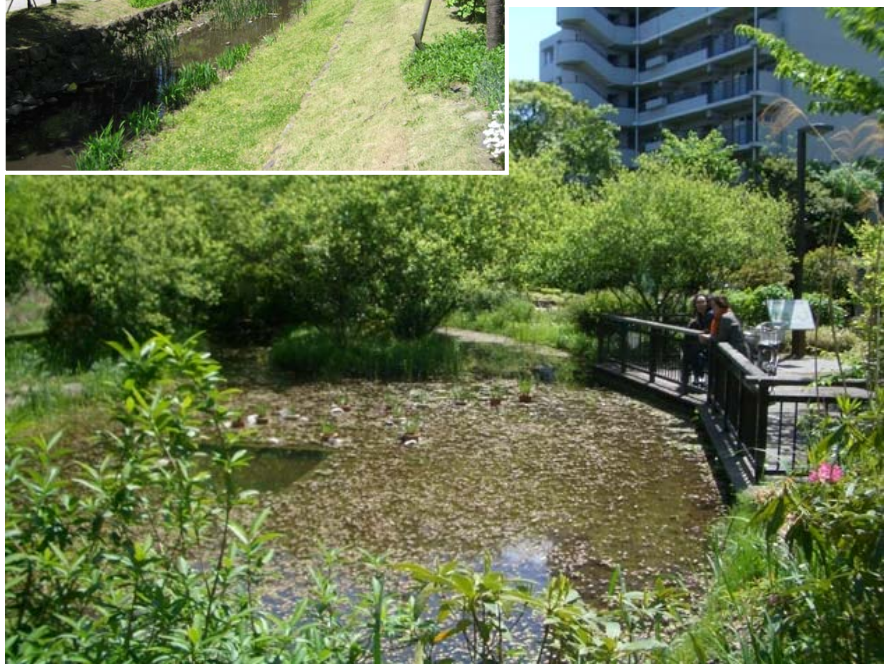
面積：桜堤公園0.11ha、仙川緑地0.42ha、仙川水辺公園0.3ha他

開設：平成16年概成、以後継続中

取組：
　平成10年に「仙川水辺環境整備基本計画」を策定し、UR都市開発機構による団地再開発とともに、公園、棟間の緑地、河川空間等を一体的に整備し、生態系に配慮した豊かな空間のネットワークを創出。

調査・保全対象：
　トンボ類、メダカ、タナゴ

コンクリート三面張りから自然を取り戻した仙川



仙川水辺公園（棟間緑地）の池と観察デッキ

③都市における生態系ネットワーク形成に資するような整備、維持管理を行っている取組

③-1　複数の公園緑地間や河川・道路など、地域一帯的な連携に関するもの

武富広域ビオトープ　（愛知県武富町）

種別：県自然環境保全地域、砂防池、農業施設、道路、空地

面積：全体約270ha

事業期間：平成11～17年（農村自然環境整備事業 ビオトープ型）

取組：
　地域に点在する自然空間の保全・回復をし、生態系のネットワークを形成するために「広域ビオトープ事業」を行った。壱町田湿地の保全、砂防池の改善、道路路肩への植栽などを実施した。

保全対象：
　湿生植物、ハッチョウトンボ、ヒメタイコウチ、ハルゼミ等

広域ビオトープ位置図

立ち入りを制限した壱町田湿地

道路脇への植栽

(武富町提供)

③都市における生態系ネットワーク形成に資するような整備、維持管理を行っている取組

③-1　複数の公園緑地間や河川・道路など、地域一帯的な連携に関するもの

朝倉川流域ビジョン　（愛知県豊橋市）

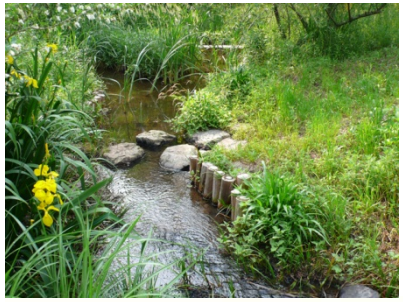
種別：1級河川、街区公園、遊園他

面積：伊原第二公園0.34ha、滝の谷遊園0.20ha(借地)など

整備：公園ビオトープ平成16年

取組：
　河川改修以前に多く見られたホタルなどの水生生物が減少した。このため河川と周辺の自然環境を再生すべく、NPO法人が「朝倉川流域ビジョン」（H9.H17）を策定、上流部の滝の谷遊園(借地)や下流部の井原第二公園にビオトープの整備などを実現している。

保全対象：　ホタル、トンボ、水生植物、鳥類



滝の谷遊園のビオトープ

川縁への植樹

朝倉川流域整備計画図　（朝倉川育水フォーラムHP）

③都市における生態系ネットワーク形成に資するような整備、維持管理を行っている取組

③-2　特定の生物種の移動経路となる公園緑地の保全を一体的に行っているもの

水の公園福島潟　（新潟県新潟市）

種別：総合公園

面積：公園22.57ha（潟湖193ha）

開設：平成9年

取組：

　平成9年に都市公園として開設。オオヒシクイの越冬地となっている周辺湖沼の施設とも調査データの情報交換を行う等、移動ネットワーク保全につながる活動を展開している。また、鳥類をはじめ福島潟の生物情報の発信基地となっている。

調査・保全対象：オオヒシクイ、マガン等の鳥類、植物、昆虫他

マコモの植栽

雁迎灯：オオヒシクイを迎えるロウソクのイベント

水の公園福島潟の全景　（水の公園福島潟HP）

③都市における生態系ネットワーク形成に資するような整備、維持管理を行っている取組

③-2　特定の生物種の移動経路となる公園緑地の保全を一体的に行っているもの

徳島園地「水郷トンボ公園」（茨城県潮来市）

種別：河川敷地（園地）

面積：2.45ha

開設：平成10年5月

取組：

　公園には霞ヶ浦で絶滅に瀕している動植物が増える可能性を持った多様な水環境を備え、公園と湖とが水路でつながっていることから、増えた生き物が湖に広がっていくことができるようになっている。

調査・保全対象：

　生物多様性の保全

公園と霞ヶ浦は水路で繋がっており、生き物が行き来できる

水郷トンボ公園　　（水郷トンボ公園パンフレット）

④その他の取組

④-1　生物の調査活動に関するもの

公園緑地空間において、生物の生息調査や、定期モニタリング等を行うもの。
また、その結果を活用して、整備方針や管理計画等に反映させているもの。

④-2　環境学習・自然観察会等に関するもの

地域住民、公園来訪者等を対象とした環境学習やイベント等を実施し、公園緑地の生物多様性に関する意識の向上につなげているもの。

④-3　公園や園内の生物についての情報発信を行っているもの

園内の展示施設や広報誌、ホームページ等で積極的な情報発信を行っているもの。

④その他の取組

④-1　生物の調査活動に関するもの

小　雀　公　園　（神奈川県横浜市）

種別：総合公園

面積：7．2ha

開設：昭和49年

取組：

　里山の自然と景観が保全されている本公園において、これらを良好な状態で維持するため、平成17、18年度に生物調査を行い、それに基づいた管理マニュアルを作成した。管理マニュアルでは、ゾーンごとの指標生物の設定を行っており、現在も四半期ごとに生物モニタリングを継続している。

調査対象：モニタリング指標生物

管理マニュアル

水生生物調査地点

小雀公園・しょうぶ田　（横浜市HP）

④その他の取組

④-1　生物の調査活動に関するもの

萩の台公園「トンボ池」（宮崎県宮崎市）

種別：総合公園

面積：21．4ha（対象地　0.01ha）

開設：平成18年

取組：
　ゴミ埋立地を整備した公園で、造成時にくぼ地に停滞水があり、その場所をトンボ池として残した。夏場は日照りで池が干上がることもあったため、指定管理者が主体となり、地元専門家、行政を交えながら、モニタリング等を行い、改めてトンボ池のビオトープ整備計画を策定している。

調査・保全対象：
　トンボ類（ハッチョウトンボ、　イトトンボ類など）

ハラビロトンボ

トンボを調査する専門家

萩の台公園　（宮崎県公園緑地協会HP）

④その他の取組

④-1　生物の調査活動に関するもの

梅小路公園「いのちの森」（京都府京都市）

種別：総合公園

面積：約１１．７ha（対象地約0.6ha）

開設：平成８年４月

取組：

　いのちの森は都市に自然の生態系を復原したビオトープ。京都ビオトープ研究会のモニタリンググループが、新しく造成された緑地がどのように自然性を獲得していくかを評価するため、平成９年より植物相（種子植物・シダ植物）等のモニタリング調査を毎月継続的に行っている。

調査・誘致対象：

　種子植物・シダ植物、鳥類、昆虫類（チョウ類、トンボ目、甲虫目等）、菌類

モニタリング調査報告

新たに造られた細流

いのちの森の樹幹回廊　（空間創研HP）

④その他の取組

④-1　生物の調査活動に関するもの

大草谷津田「いきものの里」（千葉県千葉市）

種別：道路・水路以外は民有地

面積：26ha

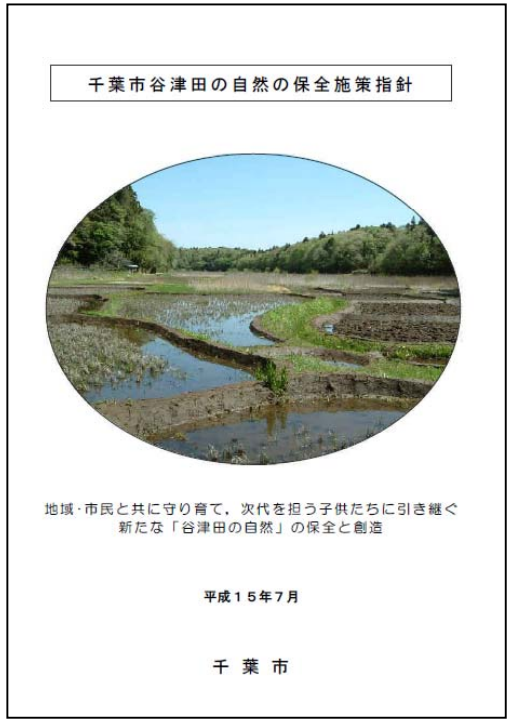
指定：地権者と5年間の保全協定

取組：

　谷津田の保全を目指し、その生態系のモニタリングを行うことにより自然の維持再生の状況を点検し、順応的な管理に反映させている。調査実施の担い手として、主体的に実施できる自然保護ボランティアの育成にも取組んでいる。

調査・保全対象：

　ニホンアカガエル、ヘイケボタル等多数



自然の保全施策指針にモニタリングが位置づけられる

大草谷津田いきものの里（リーフレットより）

④その他の取組

④-2　環境学習・自然観察会等に関するもの

横浜市自然観察の森　（神奈川県横浜市）

種別：円海山近郊緑地特別保全地区の一部、自然観察の森

面積：約45ha

開設：昭和61年

取組：

　事業の柱として「環境教育」「環境調査」「環境管理」を掲げ、「環境教育」では、市から委託を受けた（財）日本野鳥の会のレンジャー等により、「生き物のにぎわい（＝生物多様性）をキーワードに、園内の自然観察センターにおける展示や年約80回の自然体験行事を実施している。

保全対象：生物多様性

バードウオッチング

自然観察センターの展示

野外での環境教育プログラム　（横浜市自然観察の森HP ）

④その他の取組

④-2　環境学習・自然観察会等に関するもの

桑袋ビオトープ公園　（東京都足立区）

種別：区立公園

面積：8，915㎡

開設：平成17年5月

取組：

　足立の自然の姿を取りもどそうと、小学校の跡地にできたビオトープ公園。綾瀬川に接する立地で、園内の「あやせ川清流館」では、解説員が常駐し、レンジャートーク（自然観察）や各種環境学習プログラムのほか、展示や教材開発、広報活動等を展開している。

調査・誘致対象：特になし

清流館での展示

環境学習でのかいぼり

桑袋ビオトープ公園の全景　（足立区提供）

④その他の取組

④-2　環境学習・自然観察会等に関するもの

坂月川ビオトープ　（千葉県千葉市）

種別：休耕田の管理協定による

面積：事業区域約0．5ha

契約：平成17年4月（5ヵ年再契約）

取組：
　市民が水辺に親しみ、ふれあう場を提供することを目的として、市民の意見も取り入れながら市の環境保全部がビオトープを整備した。ボランティア団体が中心となって観察会や近隣小学校が実施する環境学習への支援等を行っている。

保全対象：
　トンボ類、ニホンアカガエル、植物

小学校の環境学習

坂月川ビオトープ

観察会

（千葉市HP、坂月川愛好会HP）

④その他の取組

④-3　公園や園内の生物についての情報発信を行っているもの

西　岡　公　園　（北海道札幌市）

種別：特殊公園

面積：40．98ha

開設：昭和52年3月

取組：
　もと水源池と周辺の都市公園。平成19年度より定期的に実施しているトンボ等の生息調査と植物調査を行っている。植物調査では採取・同定・標本作りも行っている。これらの調査の活動報告展を、市立博物館で実施したり、冊子やホームページ等での生物情報は充実している。

保全対象：動植物全般

情報誌

トンボの標本づくり

西岡公園の湿地　　(西岡公園HP)

④その他の取組

④-3　公園や園内の生物についての情報発信を行っているもの

堺自然ふれあいの森　（大阪府堺市）

種別：都市林

面積：約１７．２ha

開設：平成１８年

取組：
　ふれあいの森の拠点施設である「森の館」には自然体験・環境教育のスタッフが常駐しており、丁寧なガイダンス、専門的なアドバイスをしてくれる。また、継続的に生物調査を実施しており、ニュースレター、「森の館通信」、ホームページと情報発信の手段は充実している。

保全対象：里山の生物

森の館

力を入れだしたクラフト、木工

展示機能と集会機能を合わせた森の館